

第三章 敦煌発現の禅宗文献について

はじめに

敦煌で発見された膨大な文献群については既にその発見の経緯や流出の様子、そして保存の状況まで詳しく報告されている〔敦煌探検 p.127ff.〕〔敦煌写本 p.29ff.〕。さらに最近北京から方廣錫氏主編になる『蔵外仏教文献』が続けて第一輯から第三輯までが発行され〔蔵外 13〕、そこには北京図書館所蔵の敦煌文献のうち、これまで未整理でその存在すら知られていなかった貴重な文献が精細な研究報告を付して掲載されている。幸い機会を得て北京図書館でいくつかの新資料を調査することが出来た。これらはいずれも初期禅宗に関わる文献である。ここではその成果の一部を報告しておきたい。